

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 01 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	7,276,741	7,311,885	7,491,288	7,610,657		
決算	7,245,849	7,311,885	7,461,498			
人件費(報酬等)(A)	540	540	540	780		
人件費(人分)(B)	101,600	114,400	114,400	93,800		
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,347,989	7,426,825	7,576,438	7,705,237		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
企業債残高	億円	目標	249	249	248	248	248	246
		実績	246	245	242			
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

・企業債残高
健全な水道経営の持続に向け、水需要の減少を前提とした資産経営を行う一方、安定的な財源確保のため、元金ベースのプライマリーバランスの範囲内で企業債の借入を行った。
水道施設の建設や更新に掛かる建設コストを抑制するため、低コスト材料や低コスト工法を積極的に採用するとともに、長期的に投資費用の縮減や平準化等を図るアセットマネジメントによる計画的な投資を実施することにより、企業債残高の抑制が図られた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	—	—	○		5,666,680	5,572,100	13.0			1.0	780
2	浜松市水道事業(資本的支出)	—	—	○		2,038,557	2,038,557					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,705,237	7,610,657	13.0			1.0	780

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	安全で安価な飲料水の供給								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,464,581	5,484,604	5,445,943	5,572,100	0	0
	決算	5,437,888	5,484,604	5,418,832			
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,309	0	0	22,499		
	一般財源	5,368,839	5,423,496	5,362,316	5,489,671		
	一般会計繰入金	65,740	61,108	56,516	59,930		
人件費(報酬等)(A)	540	540	540	780			
人件費(人工分)(B)	101,600	114,400	114,400	93,800	0	0	
人工	正規	14.0	13.0	13.0	13.0		
	再任用(31h)	1.0					
	再任用(26h)		9.0	9.0			
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,540,028	5,599,544	5,533,772	5,666,680	0	0

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
企業債残高(億円)			目標	249	249	248	248	248	246
			実績	246	245	242			
職員定数(人)			目標	152	146	146	146	146	146
			実績	151	149	149			
他の自治体等との合同防災訓練の実施回数(回)			目標	4	4	4	4	4	4
			実績	3	0	2			
啓発事業の開催回数(回)			目標	1	1	1	1	1	1
			実績	4	0	0			
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対しては6億円減の242億円となり、企業債残高の抑制が図られた。
- ・職員定数については、150人の目標に対して149人の実績となり、計画的に人件費の削減を図ることができた。
- ・コロナ禍により、19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく堺市及びさいたま市との合同防災訓練は中止となったが、日本水道協会中部支部合同防災訓練、災害協定締結団体との連携訓練は実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により上下水道フェスタは中止となったが、市公式HPに上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」を開設し、非接触型デジタル広報の体制を整備した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・効率的な運営に向け、配水区再編の検討や職員の技術力向上の取り組み、料金体系見直しの研究などを行い、水道事業の基盤強化に取り組んでいく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	安全で安価な飲料水の供給								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,812,160	1,827,281	2,045,345	2,038,557		
	決算	1,807,961	1,827,281	2,042,666			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,476,740	1,502,720	1,721,806	1,721,559		
	一般会計繰入金	331,221	324,561	320,860	316,998		
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,807,961	1,827,281	2,042,666	2,038,557		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
企業債残高(億円)			目標	249	249	248	248	248	246
			実績	246	245	242			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

○企業債償還金

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高

健全な水道経営の持続に向け、水需要の減少を前提とした資産経営を行う一方、安定的な財源確保のため、元金ベースのプライマリーバランスの範囲内で企業債の借入を行った。

水道施設の建設や更新に掛かる建設コストを抑制するため、低コスト材料や低コスト工法を積極的に採用するとともに、長期的に投資費用の縮減や平準化等を図るアセットマネジメントによる計画的な投資を実施することにより、企業債残高の抑制が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2015年度より、公営企業債について、財政融資の償還年限が延長されたことから、後年度の公債費抑制につながる金利低減を含めた財政運営の健全化に向け、様々な発行条件について検討を実施し、企業債の発行条件について見直し。

・見直しの効果として、償還年限と耐用年数のギャップによって生じる構造的な資金不足の解消・圧縮が見込まれる。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、後年度の公債費抑制につながる金利低減を含めた財政運営の健全化に向け、様々な発行条件について検討を行う。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

○企業債償還金

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 02 水道会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	378,861	367,316	358,766	350,019		
決算	378,861	367,316	358,766			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	378,861	367,316	358,766	350,019		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	水道事業会計負担金	—	—	—		350,019	350,019					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						350,019	350,019					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 水道事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	378,861	367,316	358,766	350,019		
	決算	378,861	367,316	358,766			
	国・県支出				4,076		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	378,861	367,316	358,766	345,943		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		378,861	367,316	358,766	350,019		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 03 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	828,915	773,596	880,095	1,218,156		
決算	762,603	714,219	835,993			
人件費(報酬等)(A)	27,684					
人件費(人工分)(B)	205,400	197,600	197,600	199,600		
年間経費(予算又は決算+A+B)	995,687	911,819	1,033,593	1,417,756		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
共同住宅における小規模貯水槽の設置残件数	件	目標	1,540	1,555	1,479	1,364	1,239	1,100
		実績	1,680	1,653	1,638			
検針業務等の包括委託		目標	継続	継続	継続	継続	継続	継続
		実績	継続	継続	継続			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

- ・浜松市水道事業ビジョンに基づき共同住宅の小規模貯水槽の設置者又は管理者に対し貯水槽の適正管理を推進し、かつ水質劣化の少ない直結給水方式への切替を促進するとともに、実態を把握するため、小規模貯水槽の衛生管理についてのアンケートを実施した。
- ・2022年4月1日から新料金調定システム導入までの間の包括委託業務をスタートさせた。
- ・より高度なICTを取り入れた機種(最新のスマートメーター等)の導入について、全国規模の検討会議に参加し情報収集に努めた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	—	—	○		1,020,690	821,090	26.0	1.0		5.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	—	—	—		397,066	397,066					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,417,756	1,218,156	26.0	1.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- ・適正な給水装置工事のため指定工事事業者に対する技術的指導及び水道使用に関する監督・指導を行う。
- ・検針業務を始め料金徴収にかかる業務を包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る。
- ・より高度なICTを取り入れ、検針等の業務の省力化と効率化を図り業務の即時性を高める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	・安全安心な水道水の提供ができることを継続していく。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	770,652	713,764	735,642	821,090		
	決算	704,723	655,109	692,105			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	704,723	655,109	692,105	821,090		
人件費(報酬等)(A)		27,684					
人件費(人工分)(B)		205,400	197,600	197,600	199,600		
人工	正規	27.0	26.0	26.0	26.0		
	再任用(31h)	3.0	2.0	2.0	1.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	3.0	3.0	5.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		937,807	852,709	889,705	1,020,690		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
指定工事業者の違反行為 (件)			目標						
			実績	1	3	5			
検針業務等の包括委託			目標	継続	継続	継続	継続	継続	継続
			実績	継続	継続	継続			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業においては、指定事業者を対象とした工事講習会をWEB開催した。
- ・給水装置工事の相談・検査業務において、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施した。
- ・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図った。
- ・収納関係事務については、業務を委託し事務の効率化と経費の削減を図った。
- ・検針・調定業務については、委託し効率化や経費の削減を図った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・工事講習会対象業者524者 参加率54% 満足度83%(アンケート)
- ・料金収入の安定確保については、口座振替やクレジットカード制度を推奨し、新たな滞納発生を防ぐとともに、停水の強化をはじめ滞納分の早期解決を図った。
- ・検針・調定業務及び収納関係事務については、業務委託し効率化や経費の削減を図った。
- ・キャッシュレス決済を導入した。
- ・新料金調定システムの構築に着手した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2019年度の水道法の改正により、給水装置工事業者の指定登録の更新制度が2020年度から開始



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スマートメーターに関する研究については、全国の自治体や関連事業者で組織する検討会議に本市も加わり、最先端の技術や検討課題等について情報収集を行っている。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スマートメーターについては、引き続き全国の検討会議に参加し、他都市で実施する実証実験の経緯等を検証するなど、本市での導入について研究する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・給水装置工事指定事業者を対象として実施する工事講習会は、はままつ動画チャンネル(YouTube)を利用する。
- ・給水装置工事の相談・受付・検査業務においては、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施する。
- ・給水装置工事業者に対し、施工した現場の完成検査報告書を渡すことで工事の改善点が明らかになり、より良い現場を目指す。
- ・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図ることで収入の安定確保を目指す。
- ・収納関係事務については、業務を包括委託することで、事務の効率化や経費の削減を図る。
- ・検針・調定業務については、業務を包括委託することで効率化や経費の削減を図るとともに、より安全で軽量、高機能、低コストな検針システムの導入を目指す。
- ・新料金調定システムの構築。

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・料金調定システム及びハードウェアリース代
・加入金返還金

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの 関連性	・安全安心な水道水の提供ができるための環境整備を継続していく。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	58,263	59,832	144,453	397,066		
	決算	57,880	59,110	143,888			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	57,880	59,110	143,888	397,066		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		57,880	59,110	143,888	397,066		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・料金調定システム及びハードウェアリース代
- ・加入金返還金

政策シート

政策名 **01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道**

予算費目名 **04 浜松市水道事業会計**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **03 安全・安心・快適**

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
------------------------	-----------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。
------------------------	---

基本政策 **06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道**

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の適正な維持管理 ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。 ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。
--

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生							
-------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,267,176	4,006,782	4,019,819	3,297,103		
決算	3,783,946	3,892,016	3,487,389			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	355,400	354,600	358,800	352,600		
年間経費(予算又は決算+A+B)	4,139,346	4,246,616	3,846,189	3,649,703		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路耐震適合率	%	目標	73	76	79	81	89	100
		実績	73.3	76.9	78.7			
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の適正な維持管理 ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。 ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。
--

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、計画の耐震適合率をほぼ達成した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	—	—	○		707,098	536,498	21.0	5.0		2.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	○	○	○		2,942,605	2,760,605	26.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,649,703	3,297,103	47.0	5.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	適正な水道水供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ
事業対象	水道配水管および付属施設

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	447,218	440,509	490,315	536,498		
	決算	385,638	408,937	433,615			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	385,638	408,937	433,615			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	166,400	165,600	169,800	170,600		
人工	正規	20.0	20.0	21.0	21.0		
	再任用(31h)	5.0	4.0	4.0	5.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0	3.0	2.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		552,038	574,537	603,415	707,098		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
漏水率 (%)			目標	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
			実績	7.3	6.8	6.6			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・配給水管維持管理事業
- ・水道地理情報管理システム整備事業
- ・消火栓維持管理事業



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題
 指標の達成度
 老朽管の更新や漏水の早期発見、対応に努めた結果、前年度より0.2ポイント改善したが、管路の老朽化も進んでいることから、指標達成には遅れが生じている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・計画的な管路更新による漏水量の縮減と漏水調査による漏水の早期発見に努めた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・効果的な管路更新を行うとともに、AIを活用した効率的な漏水調査を行い漏水の早期発見、対応に努めることで、漏水率(量)の縮減を図る。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・配給水管維持管理事業
- ・水道地理情報管理システム整備事業
- ・消火栓維持管理事業

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象	上水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	172						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化を優先的に実施する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,819,958	3,566,273	3,529,504	2,760,605		
	決算	3,398,308	3,483,079	3,053,774			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,398,308	3,483,079	3,053,774			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	189,000	189,000	189,000	182,000		
人工	正規	27.0	27.0	27.0	26.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,587,308	3,672,079	3,242,774	2,942,605		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基幹管路耐震適合率 (%)	Ⅲ-1(1) ア	172	目標	73	76	79	81	89	100
			実績	73.3	76.9	78.7			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	06	01	04	007715000	02	水道工事課	高橋伸行	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、計画の耐震適合率をほぼ達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2024年度末における基幹管路耐震適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、2024年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.172】

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 05 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	3,818,749	4,080,223	3,839,814	4,259,151		
決算	3,707,621	4,022,695	3,801,355			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	131,800	129,200	125,600	118,600		
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,839,421	4,151,895	3,926,955	4,377,751		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水安全計画の策定	%	目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90			
水源上流域の調査・危害対応策作成	%	目標	70	80	90	100	100	100
		実績	70	80	90			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

- ・安心・安全な水道水給水を安定的に継続した。安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設61施設(2017経営統合の旧簡易水道含む)を対象として順次策定、策定済み数が55となった。
- ・水源上流部における有害物質取扱い事業所の調査を実施(70物質、380事業所)、リスクレベルを検証した。
- ・施設維持管理のため、施設点検、補修、修繕工事を実施。また、水質試験機器の更新を実施した。
- ・浄水場の委託業者を監督するとともに、協力・連携体制の強化を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	—	—	○		4,377,751	4,259,151	15.0	3.0		1.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						4,377,751	4,259,151	15.0	3.0		1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、その結果を公表し安全な水道水のPRを行う。また、水道水源の流域の化学物質等を排出する事業所の把握等水源水質の監視を行う。必要な水量確保のため、三方原用水や井戸の維持管理を行うとともに県企業局からの受水について調整を図る。取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、さらに取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務の健全な運営を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,818,749	4,080,223	3,839,814	4,259,151		
	決算	3,707,621	4,022,695	3,801,355			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,707,621	4,022,695	3,801,355	4,259,151		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	131,800	129,200	125,600	118,600		
人工	正規	17.0	16.0	16.0	15.0		
	再任用(31h)	2.0	4.0	3.0	3.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	1.0	1.0	1.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,839,421	4,151,895	3,926,955	4,377,751		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
水安全計画の策定(%)			目標	70	80	90	100	100	100
			実績	70	80	90			
水源上流域の調査・危害対応策作成(%)			目標	70	80	90	100	100	100
			実績	70	80	90			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 水質検査及び水質管理

水道法等に基づく給水栓等の水質検査51項目、原水の水質検査(自主検査)を各水源ごと年間1回以上実施。市民相談は21件(2022年2月末現在)に対応。水安全計画の策定を進めた。
- 水源水質保全

水源上流域の調査、自己水源(深井戸)の維持管理を行い水源水質の保全に努めた。三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)の協定書を締結、2015年度から着手。(2024年度の完了予定)
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務

計画的な取水・配水及び県水受水を行った。浄水施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場委託業者の管理監督を行うとともに協力と連携の体制強化を図った。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

包括化した浄水場運転管理業務の受託者との連携を進め、安心・安全で低廉な飲料水の供給を継続するとともに、老朽化した施設の適正な修繕・更新を継続している。
また、高度浄水処理に係る先進事例を視察するなど、浄水施設更新のための情報収集を行っている。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄水場運転管理業務について2022年度から3年間の委託契約を締結した。モニタリングを充実することにより業務内容・包括委託等の見直しを行い更なる効率化を図っていく。
また、水道アセットマネジメント計画に沿った施設更新に資するため、水処理関連の知見蓄積を継続する。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく定期的水質検査及び水道法届出に伴う給水前水質検査 ・浄水場運転に係る水質管理及び検査
 - ・水質関係の市民相談及び配管工事後の洗管水等の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 06 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,932,127	2,167,351	1,809,467	1,743,034		
決算	1,967,708	1,954,338	1,910,552			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	200,200	198,600	197,800	187,200		
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,167,908	2,152,938	2,108,352	1,930,234		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路耐震適合率	%	目標	73	76	79	81	89	100
		実績	73.3	76.9	78.7			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、計画の耐震適合率をほぼ達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	—	—	○		703,508	551,308	19.0	3.0		3.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	—	—	○		1,226,726	1,191,726	5.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,930,234	1,743,034	24.0	3.0		3.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	適正な水道供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ。
事業対象	水道配水管および付属施設。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法・水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	423,252	454,982	487,052	551,308		
	決算	405,200	430,041	470,432			
	国・県支出						
	市債						
	その他			59,505	60,378		
	一般財源 一般会計繰入金	405,200	430,041	410,927	490,930		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		165,200	163,600	162,800	152,200		
人工	正規	20.0	20.0	20.0	19.0		
	再任用(31h)	7.0	5.0	4.0	3.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		2.0	3.0	3.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		570,400	593,641	633,232	703,508		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
漏水率(%)			目標	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
			実績	7.3	6.8	6.6			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・災害対応の強化



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題
 指標の達成度
 老朽管の更新や漏水の早期発見、対応に努めた結果、前年度より0.2ポイント改善したが、管路の老朽化も進んでいることから、指標達成には遅れが生じている。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・計画的な漏水調査の業務委託を実施および職員による調査も併せて実施した。また遠方監視システムの情報を分析し、早期の異常発見と修繕を行うことにより漏水率の軽減及び事故防止を図った。
- (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・引き継ぎ計画的な漏水調査及び遠方監視システムの情報分析を実施し、漏水等の早期発見に努める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・災害対応の強化

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象	上水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法・水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化を優先的に実施する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,508,875	1,712,369	1,322,415	1,191,726		
	決算	1,562,508	1,524,297	1,440,120			
	国・県支出		21,159				
	市債						
	その他		437,793	347,428	241,859		
	一般財源 一般会計繰入金	1,562,508	1,065,345	1,092,692	949,867		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		35,000	35,000	35,000	35,000		
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,597,508	1,559,297	1,475,120	1,226,726		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
基幹管路耐震適合率(%)			目標	73	76	79	81	89	100
			実績	73.3	76.9	78.7			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・配水管布設事業(新清掃工場関連事業含む)
- ・施設整備事業(新清掃工場関連事業含む)
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業費
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、計画の耐震適合率をほぼ達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2028年度末における基幹管路耐震化適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、2024年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・配水管布設事業(新清掃工場関連事業含む)
- ・施設整備事業(新清掃工場関連事業含む)
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業費
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 07 浜松市水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	719,599	946,370	1,005,963	1,014,393		
決算	699,599	849,548	987,121			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	121,400	121,400	121,400	72,200		
年間経費(予算又は決算+A+B)	820,999	970,948	1,108,521	1,086,593		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路耐震適合率	%	目標	73	76	79	81	89	100
		実績	73.3	76.9	78.7			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・幹線管路の耐震化および老朽管更新工事。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
 ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、計画の耐震適合率をほぼ達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	—	—	○		430,769	372,569	7.0	1.0		2.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)	○	○	○		655,824	641,824	2.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,086,593	1,014,393	9.0	1.0		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市水道事業(水道事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	適正な水道水供給のため、水道施設および管路を正常な状態に保つ
事業対象	水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法、水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	263,006	297,988	380,353	372,569		
	決算	263,006	284,988	356,297			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	263,006	284,988	356,297	372,569		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		65,400	65,400	65,400	58,200		
人工	正規	7.0	7.0	7.0	7.0		
	再任用(31h)	3.0	3.0	3.0	1.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0	2.0	2.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		328,406	350,388	421,697	430,769		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
漏水率 (%)			目標	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7
			実績	7.3	6.8	6.6			
水安全計画の策定(%)			目標	70	80	90	100	100	100
			実績	70	80	90			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

漏水率(遅れている)

・老朽管の更新や漏水の早期発見、対応に努めた結果、前年度より0.2ポイント改善したが、管路の老朽化も進んでいることから、指標達成には遅れが生じている。

水安全計画の策定(%) (計画通り)

・安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設61施設を対象として順次策定し、55個所の策定が完了した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。
- ・水道施設61施設を対象として順次「水安全計画」の策定をし、55個所の策定が完了した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的な漏水調査を実施するとともに、遠方監視システムを活用し、漏水の早期発見、修繕に努める。
- ・引き続き「水安全計画」の策定を進める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業

事業シート (事業名) 02 浜松市水道事業(資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的	水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象	上水道施設および管路

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1929	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	172						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	安全な水道水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化を優先的に実施する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	456,593	648,382	625,610	641,824		
	決算	436,593	564,560	630,824			
	国・県支出	18,000	25,854	22,906	5,203		
	市債						
	その他						
	一般財源	418,593	538,706	607,918	636,621		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	56,000	56,000	56,000	14,000		
人工	正規	8.0	8.0	8.0	2.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		492,593	620,560	686,824	655,824		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基幹管路耐震適合率 (%)	Ⅲ-1 (1)ア	172	目標	73	76	79	81	89	100
			実績	73.3	76.9	78.7			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業
- ・施設耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、計画の耐震適合率をほぼ達成したが、2022年度以降、支障物件による布設ルートの再設定や工法の再検討が必要となり、事業完了目標を2024年度末から2028年度末に延伸することとした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2024年度末における基幹管路耐震適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、2028年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・施設改良事業
- ・消火栓設置事業(改良費)

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 08 飲料水供給施設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

- (1) 衛生管理を促すとともに、施設修繕により、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する。
 (2) 人口減少を踏まえ、より効果性と経済性の高い改良更新整備により、安全で安定した生活用水の確保を支援する。
 (3) 地域の水道として必要な知識・技術の継承に努め、地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理による、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	51,587	41,475	38,241	26,939		
決算	48,921	38,940	26,927			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	40,720	40,720	40,720	40,720		
年間経費(予算又は決算+A+B)	89,641	79,660	67,647	67,659		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水質検査受検率	%	目標	95	96	97	98	99	100
		実績	91	90	97			
水質適合率	%	目標	95	96	97	98	99	100
		実績	81	77	80			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- (1) 維持修繕により、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援した。
 (2) より経済的で効果的な改良更新整備を行い、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援した。
 (3) 水質検査を含む維持管理費用を助成し、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	遅れている
<ul style="list-style-type: none"> 水質検査受検率の向上 水質検査未実施の飲料水供給施設に対し、衛生管理の必要性を伝えて受検を促し、受検率が向上した。 水質適合率 水質への過信により、一部で適正な維持管理が行われなかった。引き続き衛生管理の必要性及び適正な維持管理を呼び掛けていく。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	飲料水供給施設維持管理事業	—	—	—		32,982	18,222	1.8	0.6			
2	飲料水供給施設整備事業	—	—	—		18,482	3,402	2.0	0.3			
3	飲料水供給施設管理助成事業(補助金)	—	—	—		16,195	5,315	1.4	0.3			
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						67,659	26,939	5.2	1.2			

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 飲料水供給施設維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

衛生管理を促すとともに、施設維持修繕により、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの 関連性	経済性ある施設改修と効率的かつ効果的な維持管理により、安全で安定して生活用水を確保できるよう支援する								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	29,711	26,792	29,419	18,222		
	決算	28,181	25,715	18,892			
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,766	1,437	1,716	1,595		
	一般財源	26,415	24,278	17,176	16,627		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	14,760	14,760	14,760	14,760		
人工	正規	1.8	1.8	1.8	1.8		
	再任用(31h)	0.6	0.6	0.6	0.6		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		42,941	40,475	33,652	32,982		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 06 01 08 007760000 01 天竜上下水道課 馬淵 勝巳 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

飲料水供給施設等の維持修繕のほか、事業活動全般に関する事務を行った。
(公設飲料水供給施設142施設)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

漏水等の緊急修繕等を実施し、安全で安定して生活用水を確保できるよう支援した

施設維持修繕 41件 17,076千円

維持管理相談支援事業 15件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 人工

施設は、現施設を可能な限り使用し続けるために必要な維持修繕を行うとともに、維持管理が大きな負担となっている水道組合には、地域の水道業者による、効率的で効果的な維持管理の指導を行い、施設の長寿命化と利用者の負担軽減に努めた

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 人工

過疎化と高齢化により人口減少はより進むと思われる、施設の更新は過剰な投資に繋がりがかねない。部分改修により現施設を可能な限り使用し続けるとともに、適正で効率的な維持管理と、有事における対応に備え、地元水道業者との連携を深める中で、安全で安定して飲料水が確保できるよう支援していく



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

飲料水供給施設の維持修繕のほか、支援事業全般に関する事務を行う。
(公設飲料水供給施設139施設)

事業シート (事業名) 02 飲料水供給施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

飲料水供給施設の施設整備を行い、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの 関連性	経済性ある施設改修により、安全な水を安定的に確保できるよう支援する								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	16,303	8,812	3,460	3,402		
	決算	16,135	8,348	3,300			
	国・県支出						
	市債	11,800	5,000	1,000	3,000		
	その他	1,613	835	330	340		
	一般財源	2,722	2,513	1,970	62		
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		15,080	15,080	15,080	15,080		
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.0		
	再任用(31h)	0.3	0.3	0.3	0.3		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		31,215	23,428	18,380	18,482		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
消毒設備設置率(%)			目標	89	95	95	95	98	100
			実績	94	94	94			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

瀬居飲料水供給施設簡易ろ過施設設置整備工事
 津行飲料水供給施設送水ポンプ整備工事
 相津飲料水供給施設取水ポンプ整備工事



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

瀬居飲料水供給施設簡易ろ過施設設置整備工事 1,166千円

津行飲料水供給施設送水ポンプ整備工事 987千円

相津飲料水供給施設取水ポンプ整備工事 1,147千円

・消毒施設の設置を促進したが実施に至らなかった。引き続き設置促進を図る。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過剰な投資とならぬように経済性を踏まえた工法で事業費の削減を図った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過剰な投資とならぬように工法を検討し事業費の削減を図っていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

飲料水供給施設の改良及び更新工事

事業シート (事業名) 03 飲料水供給施設管理助成事業(補助金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

飲料水供給施設の水質検査及び維持管理委託費用の一部を助成し、適正な維持管理により安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	効率的かつ効果的な維持管理により、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,573	5,871	5,362	5,315		
	決算	4,605	4,877	4,735			
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,000	3,000	2,000	3,000		
	一般財源	1,605	1,877	2,735	2,315		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	10,880	10,880	10,880	10,880		
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.4		
	再任用(31h)	0.3	0.3	0.3	0.3		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,485	15,757	15,615	16,195		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
水質検査受検率(%)			目標	95	96	97	98	99	100
			実績	91	90	97			
水質適合率(%)			目標	95	96	97	98	99	100
			実績	81	77	80			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
03

基本政策
06

政策
01

予算費目
08

所属コード
007760000

事業
03

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
馬淵 勝巳

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- (1)水質検査に対する助成
- (2)維持管理の委託費用に対する助成



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)水質検査に対する助成 136施設
- (2)維持管理の委託費用に対する助成 56施設

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

受検していない飲料水供給施設に対し、衛生管理の必要性和水質検査の実施を伝え、受検に至ることができた施設があった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

受検していない飲料水供給施設を含めて、衛生管理の重要性を理解していただくように努め、水質検査実施率・適合率を向上させる。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- (1)水質検査に要する費用に対する助成
- (2)維持管理の委託に要する費用に対する助成

・水質検査、維持管理委託に要する費用に対する補助金制度の周知と水質管理の重要性について資料を作成し、水道組合に対し配布し、水質検査実施率・適合率の向上を図る。

・不適合となった施設の調査を行い、改善手法の提案を行う。

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 09 小規模水道施設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

特定未普及地域の住民が行う水道施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成し、安全で安定して飲料水が確保できるよう支援する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	5,126	4,763	2,551	9,744		
決算	4,762	4,464	1,529			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	8,480	8,480	8,480	8,480		
年間経費(予算又は決算+A+B)	13,242	12,944	10,009	18,224		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成し、安全で安定して飲料水が確保できるよう支援した

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成し、安全で安定して飲料水が確保できるよう支援した

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	生活用水応援事業	—	—	—		18,224	9,744	0.8	0.8			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						18,224	9,744	0.8	0.8			

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 生活用水応援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

特定未普及地域に居住する市民が、安全で安定して生活水の確保を支援する

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2009	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの 関連性	経済性ある施設改修と効率的かつ効果的な維持管理により、安全な水を安定的に確保できるよう支援する								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,126	4,763	2,551	9,744		
	決算	4,762	4,464	1,529			
	国・県支出						
	市債						
	その他	10	2,190	107	170		
	一般財源	4,752	2,274	1,422	9,574		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	8,480	8,480	8,480	8,480		
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8		
	再任用(31h)	0.8	0.8	0.8	0.8		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,242	12,944	10,009	18,224		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成した。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成した。また、水道未普及地域の濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行った。

施設改修 8件、水質検査 5件、維持管理委託 5件、臨時給水 33件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域は、水道施設等の設置及び維持管理を自己責任と自己負担で行っているため、施設改修、水質検査及び維持管理委託の費用の一部を助成する補助制度を創設し、衛生管理の必要性和費用負担の軽減を図った。また、水道未普及地域の濁水や濁水で生活用水の確保が困難な世帯には、臨時給水を行い、住み慣れた地域でいつまでも生活できるように努めた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域の状況把握に努め、安全で安定して飲料水が確保できるよう引き続き支援していく

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。

浜松市小規模水道施設設置及び維持管理費補助金交付要綱を改正 施設整備及び修繕 8/10→9/10

政策シート 政策名 01 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

予算費目名 10 水道会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 06 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

公営水道が提供できていない地域に居住する市民の、生活用水の確保支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	51,334	51,712	52,176	52,120		
決算	51,334	51,712	52,176			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	49,200	49,200	49,200	44,800		
年間経費(予算又は決算+A+B)	100,534	100,912	101,376	96,920		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

公営水道が提供できていない地域に居住する市民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、生活用水が確保できるよう支援した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
 住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、水道施設の改修工事を実施するほか、維持管理費の助成、適正な維持管理の指導、臨時給水などを行い、生活用水が確保できるよう支援した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	水道事業会計負担金	—	—	—		96,920	52,120	6.0			1.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						96,920	52,120	6.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 水道事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公営水道が提供できていない地域に居住する市民が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう飲料水を始めとする生活用水が確保できるよう支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑥水・衛生
事業とゴールの関連性	経済性・効率性・効果性を踏まえた中で、安全で安定して生活用水が確保できるよう支援する								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	51,334	51,712	52,176	52,120		
	決算	51,334	51,712	52,176			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	51,334	51,712	52,176	52,120		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		49,200	49,200	49,200	44,800		
人工	正規	6.0	6.0	6.0	6.0		
	再任用(31h)	2.0	2.0	2.0			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		100,534	100,912	101,376	96,920		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出した

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出した

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 水道施設に精通する技術職員が減少する中で、安全で安定して飲料水が確保できるよう努めた

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 地域水道として、地域の水道事業者との連携を模索する中で支援を検討する

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出する